

宍粟市認知症初期集中支援チーム

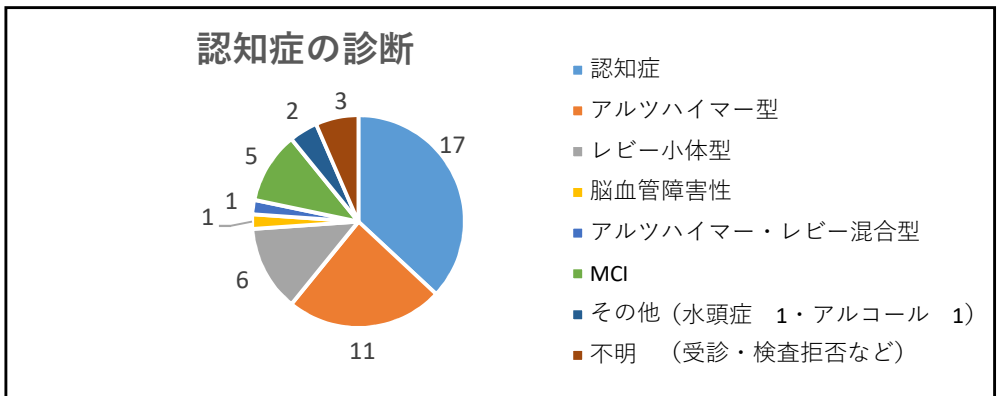
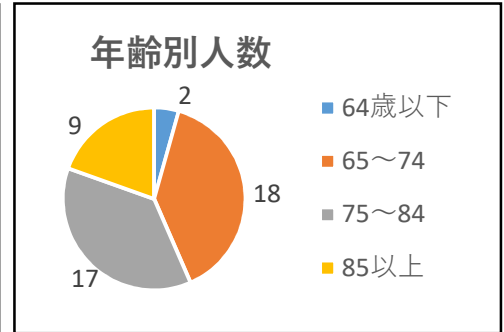
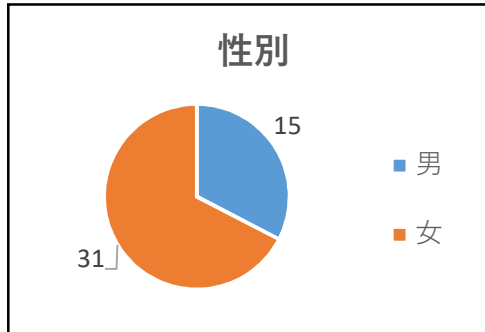
平成29年11月～活動開始

認知症初期集中支援チームとは、複数の専門職が本人や家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問してアセスメントをし、受診勧奨や家族支援などの支援を包括的、集中的（概ね6か月間）に行い、医療・介護・地域につなぎ自立生活のサポートを行うチーム。

平成29年11月～令和4年3月末に支援した46例

【参加スタッフ】

- ・ 認知症サポート医
- ・ 作業療法士
- ・ 社会福祉士
- ・ 認知症地域支援推進員
- ・ 保健師



認知症の相談は家族・親族からが多いが、何かおかしいと感じた本人が相談される場合もある。気軽に相談できるためにも相談窓口の周知が大切である。また知人や地域の人からの相談もあり、地域の人々が認知症について理解をし、早期発見や受診につながっていると思われる。

対象者の年齢は65～74歳の前期高齢者が多く、64才以下の相談もある。認知症は高齢者だけの問題ではなく、若い世代が認知症を理解し早期の相談につなげるためにも周知活動が大切である。

かかりつけ医を持ったり民生委員・児童委員など地域の人と交流するなど認知症予防に努め、認知症の症状に早期に気づいて相談する。認知症初期集中支援チームはいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人や家族を支援していくチームを目指していく。

